

# 福祉文教常任委員会所管事務調査報告書

令和7年8月28日

別海町議会議長 西原 浩 様

福祉文教常任委員長 外山 浩 司

福祉文教常任委員会における所管事務調査に係る福祉文教常任委員会協議会の協議結果について、次のとおり報告します。

## 記

### 1 開催日時

#### (1) 第5回常任委員会

令和7年8月28日(木) 10時から11時まで

#### (2) 第7回常任委員会協議会

令和7年8月28日(木) 11時10分から12時まで

### 2 開催場所

委員会室4

### 3 出席委員

外山委員長、横田副委員長、中村委員、田村委員、貞宗委員、伊勢委員

### 4 欠席委員

吉田委員

### 5 委員外

なし

### 6 調査事件及び協議結果

#### (1) 小中一貫教育及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について(教育委員会)

・・・調査継続

##### ・別海高等学校寄宿舎施設運営状況について

##### ①説明職員の調査課題への把握が甘いと感じられた。

建築物は、一般的に50年経過で建替えや大規模修繕が必要となるが、寄宿舎の建設年度を把握していない状態での説明であった。

教育委員会内での協議内容や経緯など、事業実施の根拠を明確にした説明が求められる。

##### ②調理人が退任し、外部委託に変更になっているが、必要な変更などが行われて

いないように見受けられた。

協定書の内容を遵守した運営が望まれる。協定書の中には協定内容の変更に関する条項が盛り込まれていることから、必要ならば、協定内容の見直しを行うべきである。

- ③町からの補助を増額する説明内容であったが、数字的根拠があいまいな状態で、物価高騰や人件費の増加だけを理由としても納得することは難しい。  
民間の経営であっても、費目ごとの実績が把握できなければ補助額を増やした理由を判断するのに苦慮し、町民への説明責任が果たせない。
- ④原価償却費の額がどのように扱われているのか不明である。
- ⑤協定期間は平成30年から令和9年までの10年間であり、その後について協議を進めているが、継続されるかは不透明とのこと。別海高等学校の生徒の利用者がいる限り、寄宿舍は必要だと考える。

## 7 その他

### (1) 9月の調査内容確認について

- ①福祉部「介護職員の状況について」
- ②保健生活部「ゴミ処理状況について」
- ③教育委員会「小中一貫校及び別海高等学校の魅力向上や支援事業について  
各学校の状況について（今後の適正配置、統廃合など）」
- ④別海病院「病院運営について」（診療所の状況など）

### (2) 意見書案の提出に係る協議について

- ①「安心・安全の医療・介護実現のため人員増と処遇改善を求める」意見書案  
・・・一部文言削除し提出
- ②「義務教育の機会均等の確保と教育予算の確保の拡充を求める」意見書  
・・・提出

### (3) 10月行政視察の事前質問について

下記の案をもとに9月常任委員会で協議し、案としてまとめる。

- ①上湧別地区義務教育学校（湧別町 人口7,987人）
  - ・町内で3校目になる義務教育学校に至った経緯について。
  - ・教職員の年代と教員免許について。小学校、中学校の両方の免許を持っているか。
  - ・中学校の先生が、小学校の授業を担当（乗り入れ）しているか。また、教科担任制度は、取り入れているか。
  - ・子どものリーダーシップを発揮する場面の工夫は。特に小学校5年・6年生が児童会でリーダーシップを発揮する場があったと思うが、中学生がいる中で、今までの小学高学年が発揮していたリーダーシップ等を発揮する工夫について。
  - ・子どもの悩みや考えなどを教員同士で共有する体制について。
  - ・9年間の系統的なカリキュラムの中で、特に力を入れた内容は。また、「ふるさと学習」の取組について

②小清水町「KOSHIMOタクシー」(略称；こしたく)(人口5,085人)

- ・別海町は、総面積が1,317㎡で、東西61km、南北44km(数値の少数点以下省略)あり、高齢化に伴い免許返納者が増えるなど、住民の移動手段が課題となっているが、小清水町の状況について。
- ・運転手が登録されるまでの過程について(基準、養成講座、安全講習会など)。
- ・網走ハイヤーが、運営管理に至るまでの経緯について。
- ・事故が起きた時の対応は(保険関係、役場担当課の関わりなど)。
- ・ドライバーと利用者とのトラブル等について。
- ・利用者が困っていることや改善点について(高齢者のアプリ使用や講習会の開催)。